

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名称	栃木市老人福祉センター 福寿園
	所在地	栃木市千塚町210
	施設内容	老人福祉センター
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2-1-40
	主な業務内容	・地域福祉推進事業・介護保険事業・障害者総合支援法に基づく事業

(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	各種サービスの満足度（%）	（職員の対応）	70	95
	各種サービスの満足度（%）	（清掃状況）	70	98
	各種サービスの満足度（%）	（館内の設備）	70	95
	苦情要望に対する対応（7営業日以内に回答した数）		0%	0%
	市民の自主的民間活動への支援（回）		5	16

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

① 10項目の管理運営指針を事務所に掲示すると共に、朝礼において再確認するなど指針に基づいた管理運営が行われるよう心がけています。
 ② 3園共通の利用券や回数券、障がい者等には共通の減免カードを発行すると共に、生活路線バスやコミュニティバス・デマンドタクシーに関する情報提供及び丁寧な説明を行うなど利便性を図っております。また、栃木市老人福祉センター条例を遵守し、常に公正公平な態度で接遇を行うよう職員一同心がけています。③ 各種の催し物を行った際等に利用者アンケートを実施し意見を把握すると共に年1回実施したアンケート調査の結果から「満足」「やや満足」と回答した利用者は、職員の対応については95%、館内の清掃状況は98%、館内の設備は95%となりました。調査の結果を踏まえ、利用者の立場に立った使いやすい施設作りに心がけています。
 ④ 館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募ると同時に、ご意見・苦情については本会苦情解決に関する規定に基づき迅速丁寧に対応しています。平成26年度は特に目立った苦情は寄せられておりません。

施設所管課コメント
 ・老人福祉センターの設置目的に基づき、効果的・効率的かつ適正に管理運営を行っているものと評価する。
 ・アンケート調査を実施し、利用者からの要望・意見を確認したうえで対応している。
 ・利用者の満足度等も計画値を上回っており、その点から職員の丁寧な対応が伺える。

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価項目	①	事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	広報の充実		1		3		
	基準利用者数の達成（人）		23,000		23,773		
	施設目的に合致したサービスの提供		1		8		
	事業計画等に定める事項の遵守（%）		100		100		
	他施設との連携に対する理解（回）		1		2		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①事業計画書に基づき、記載された事業はほぼ達成されました。</p> <p>②本会広報誌（社協だより年4回発行）に記事を掲載したり、本会ホームページに利用案内を掲載し、利用促進のためのPRに努めています。</p> <p>③利用者の利便性を高めるため、開館時間の延長実施を行いました。また、休館日となっていた12月29日～31日までを平成21年度から開館しています。新規利用者の増加を図る試みとして、さらに、利用者の満足度を向上するため、回数券11枚綴りを5冊で1日無料としたり、押花教室や和太鼓の演奏会を開催し、利用者の好評を得ました。施設の老朽化に伴い設備の修繕を余儀なくされましたが、23,039人が利用され、平成24年度～平成26年度の平均利用者数が23,773人となりました。</p> <p>④自治会や地区社協の催しに対し休館日に会場を提供したほか、地域包括支援センターの協力を得て月に一度、介護予防のための事業を実施するなど連携を図っています。また、吹上地区まちづくり協議会の福祉・環境委員会に委員として参加し、花いっぱい運動などにも積極的にかかわると共に、本会の車椅子貸出事業や各種募金の取扱い窓口を行うなど地域の利便性に努めています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者より提出された事業計画書に基づいた、適正な管理運営を行っていた。 開館時間の延長等を行い、利用者の利便性を向上させる取組みを実施している。 利用者については既存利用者の割合が高く、新規利用者をどのように増やしていくかが課題である。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価項目	①	指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	②	経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③	清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④	建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	コスト管理の徹底（件）（業務委託の際に、競争入札を実施）		—		14		
	コスト管理の徹底（光熱水費の削減）（％）		0%		11.1%		
	燃料費の見積合わせ（回）		12		12		
	環境に配慮した管理（廃棄物の減量と再資源化の対策の徹底）（％）		100		100		
	環境に配慮した管理（冷暖房温度の抑制の取組み）（％）		100		100		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①指定管理料は本会の収支予算書に計上し、収支手続きを適正に行うと共に、毎月市に運営状況報告書を提出しています。</p> <p>②常に経費削減に努めておりますが、施設の老朽化に伴う配管の亀裂等が発生し、早急に修繕等の対応を行い、故障による休館という事態を未然に防ぎました。</p> <p>③本会の経理規程に基づき、保守点検等の14の業務について複数の業者から見積もりを徹し比較すると共に、再委託をする際は、十分に必要性を吟味し、経費削減に努めました。また、入浴施設の燃料として使用しているA重油については、毎月見積もり合わせを実施し経費削減に努めました。光熱水費については、予算額7,442,000円に対して、決算額6,613,508円となり11.1%の経費削減となりました。④定期的に施設を点検し結果を市に報告すると共に、設備や備品は専門業者による点検整備及び必要に応じて修理を行いました。館内の節電や節水、空調の適正温度管理、両面コピーやミスコピーの裏面使用、再生紙の使用、緑のカーテンの設置などを行い環境に配慮しています。また、栃木市のエコオフィス推進実行計画にも協力しています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料の使用用途を毎月報告し、適切な管理を行っていた。 ・施設の老朽化による修繕が増加する中で、利用者に支障が出ないように早急な対応をされていた。 ・経費において、エコ・省エネを踏まえた経費削減の努力を行っていた。 						

(4) 施設の管理を安定して行う能力							
評価項目	①	管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか					
	②	職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか					
	③	健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか					
	④	財政状況に異常はないか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	管理体制に定められた人員配置の有無		4		4		
	日常連絡の適切さ（％）		100		100		
	事業計画・事業報告の適切さ（％）		100		100		
	配置人員の施設管理運営方針の理解度とスキルの習得度（回）		1		11		
	園長会議（年6回以上開催）		6		12		
	施設の長寿命化（進捗状況％）（施設・設備中長期修繕計画）		—		50		
	労働基準の充足（％）		100		100		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者は、他の老人福祉センターの業務経験があり防火管理者・社会福祉主事・介護福祉士の資格を有する者を配置しています。管理者以外の従業者についても、2名は他の老人福祉センターでの業務経験がある者を配置しています。また、本会看護師が健康相談、介護支援専門員が介護相談にあたっており、協力体制も確保されています。本会本部の福祉プロパー職員とも連携を密にし万が一に備えています。また、事業計画・報告は指定された日までに、毎月の利用状況報告書は翌月10日までに提出し、適正な施設管理に努めております。さらに管理運営体制に定められた人員4名を配置し、本会就業規程を遵守し、業務を忠実に遂行いたしました。</p> <p>②社会福祉法人栃木県社会福祉協議会の研修会及び本会主催の研修会に参加し、職員の資質の向上に努めました。</p> <p>③健康保険、厚生年金保険料について滞納はありません。</p> <p>④別紙財務数値について異常ありません。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等の配置や管理体制については適切に配置されている。 ・研修会などを通じて、職員のスキルアップも行われている。 ・保険料及び税金等の滞納はなく、適正な財政管理を行っている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価項目	①	日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	損害賠償保険への加入 (%)		100		100		
	防火管理者の配置と安全確保体制の確立 (避難訓練) (回)		2		2		
	防火管理者の配置と安全確保体制の確立 (消防設備点検) (回)		2		2		
	事件・事故発生時の対応の適切さ		—		—		
	施設の安全対策 (施設点検) (%)		100		100		
	守秘義務の徹底 (%)		100		100		
評価	配点	第1次評価 (指定管理者評価)			第2次評価 (施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①施設の状況について毎月1回点検し、四半期ごとに施設点検報告書を提出しております。また消防設備については、業者に委託し年2回の点検を実施しています。施設の管理瑕疵に係る損害賠償保険に加入し、不測の事態に備えています。休館日や夜間など職員不在時の警備は業者に委託して実施しています。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、職員に周知徹底を図っております。また、利用者の同意をいただき、緊急連絡台帳を作成し緊急時に備えています。事故発生時には、危機管理マニュアルに従い市に通報すると共に報告書を提出し、連携を図ります。</p> <p>③デイサービス福寿園等との合同で避難訓練を年2回実施し、館内利用者と避難経路や避難の手順について確認し、安全対策を講じています。また、防火管理者を選任し、消防計画の策定を行い消防署への届け出を行っています。</p> <p>④利用者の同意をいただき作成した緊急連絡先台帳の取扱いについては、本会の個人情報規定に基づいた取扱いを実施しています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設環境の整備及び緊急時の危機管理体制について、適切に取り組んでいた。 緊急時における対応方法に対して、危機管理マニュアルの周知と避難訓練による安全対策を実施している。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	16	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	12
評価点合計	100	81	81
総合評価		A	A

第3次評価 (選定委員会評価)				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
資産総額	1,984,278,185	2,088,032,847	2,249,265,642
売上高	968,791,244	973,884,685	1,009,215,259
経常利益	96,927,862	78,164,516	64,931,656
当期利益	96,444,882	78,033,869	64,890,454
経常収支比率	110.6%	108.0%	106.1%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。
この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
経常費用	913,522,185	971,101,074	1,069,615,264
経常収益	1,010,450,047	1,049,265,590	1,134,546,920
経常収支比率	110.6%	108.0%	106.1%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

--